

動物の自由を考える

BSE (牛海綿状脳症)、口蹄疫、鳥インフルエンザ、PEF (豚伝染病) …
次々と発生する家畜の病気は私たちにどんな警告を発しているのでしょうか。
私たちの食と深くかかわっている「アニマルウェルフェア (家畜福祉)」
家畜がどんな環境で飼われているのかについて考えてみましょう。

どろんこ遊び
大好き！



食べるあなたに
知ってほしい

NPO法人北海道食の自給ネットワーク

アニマルウェルフェア・ネットワーク 通称「あにふく」

札幌市東区北 15 条東 18 丁目 2-17 (有) ワードエム内

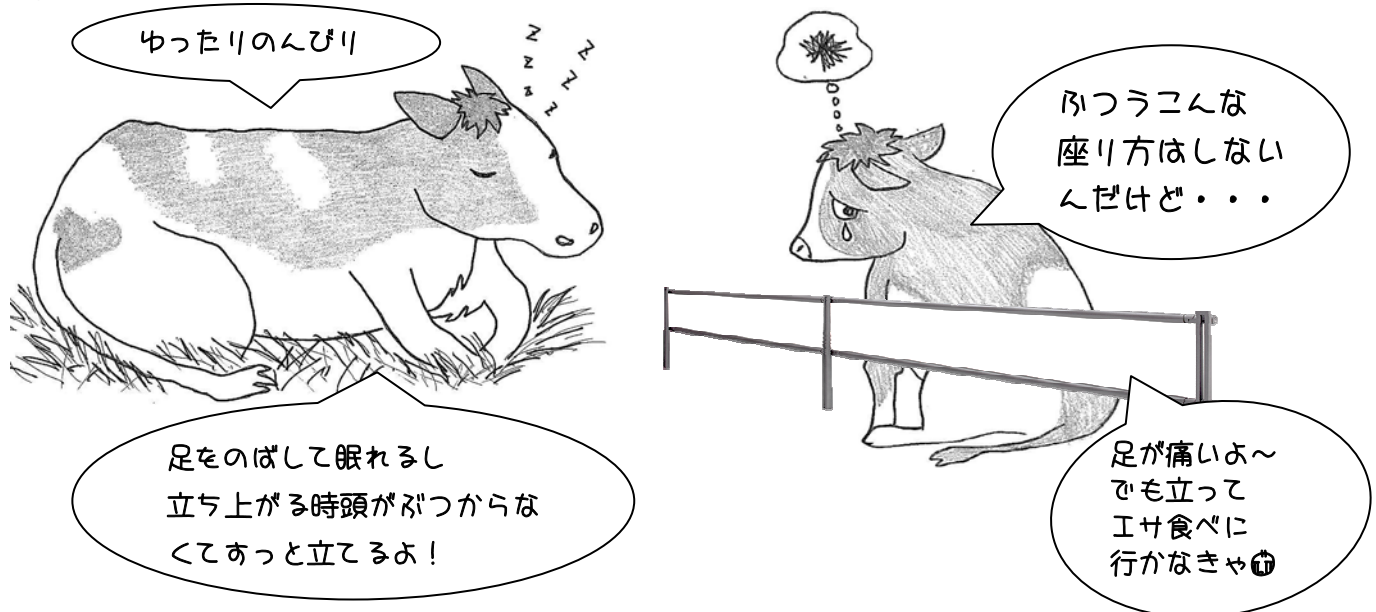
Tel(090)-2818-5502 FAX(011)-789-8890

HP アドレス <http://jikyuu.net> E-mail:info@jikyuu.net

🌀 アニマルウェルフェアって何？

アニマルウェルフェアとは家畜たちが心地よく過ごせるように配慮した飼い方のことです。しかし、ペットのようにただかわいがることとは違います。家畜たちは人間が食べるために生まれ、人間が食べるために殺されるのが運命ですが、せめて生きている間は、その習性に合ったストレスのない環境で生きさせることが食べる側人間の役目ではないでしょうか。家畜が健康であれば免疫力も高まり、病気にもなりにくく抗生物質も少なく済みます。食べる人の食の安全にもつながります。

たとえば



牛は横になったり立ち上がった時、頭を前に突き出すようにしますが、そのスペースが取れない場合、やむを得ず右のような座り方をすることがあります。このような座り方では足を痛めてしまい、痛みによる食欲不振がおきることがあります。

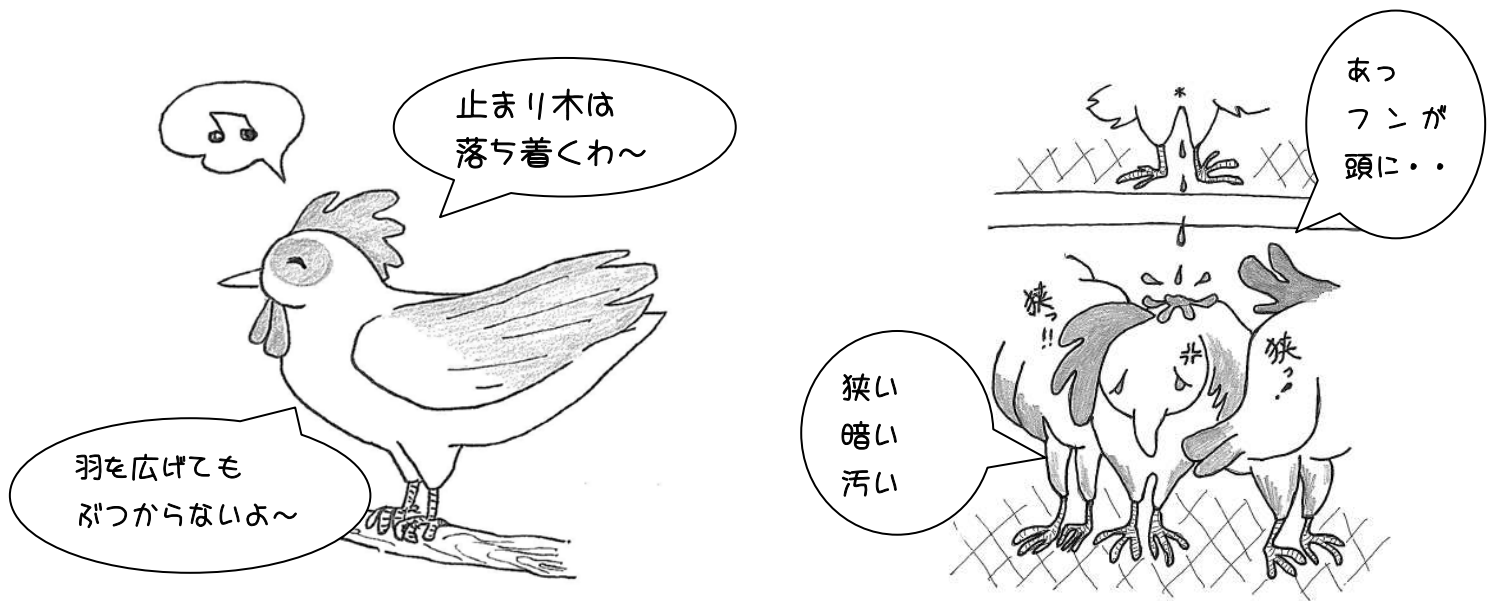
※他府県に比べ放牧が多いとされている北海道でも、牧草地などで放牧されている牛の数は2割程度。

約8割の牛は牛舎内だけで生涯を過ごします。

そんなにストレス感じていたの？
知らなかったよ・・・



生産者



鶏は止まり木に止まる習性があります。しかし、ほとんどの鶏は狭いケージで飼われ、床は金網で止まり木はありません。



子牛は乳を飲む時上を向いて飲むのが自然なので、下を向いて飲むと誤嚥の原因になる事があります。バケツでは雑菌が入りやすく冷めやすいです。また、吸うことが十分できないと他の牛を吸ったり、異物をなめたりという異常行動をすることがあります。いずれにしても、乳の保温や衛生環境などに気を配ることが大事なことです。

🌀 アニマルウェルフェアの始まりは？

1964年著書『アニマル・マシーン（工場畜産）』でイギリスの主婦ルース・ハリソンは経済成長に伴い、家畜の飼養頭数が増え、家畜の飼育方式が集約化、大規模化してきた中で、「命のある家畜を人間の欲求のままに、肉、乳、卵の製造機械のようにしか扱っておらず、まるで工場で生産しているようだ」と訴えました。

これを受けてイギリスのプランベル委員会が「すべての家畜に、立つ、寝る、向きを変える、身づくろいする、手足を伸ばす行動の自由を与えるべき」という基準を提案しました。

🌀 EU など諸外国では？

たとえば放牧可能な季節に一日中つないだまま牛を飼う事を禁止したり、何段にも重ねた金網ケージで鶏を飼う「バタリーケージ」を禁止するなどしています。EUでは認証マークのついたアニマルウェルフェア製品を普通のスーパーで購入することができます。消費者に向けては、鶏卵のパッケージに番号が記載され、「オーガニック」「放し飼い」「平飼い」「ケージ飼い」がわかるような仕組みもあります。米国やカナダ、オーストラリアでもアニマルウェルフェアの取り組みが進んでいます。日本ではガイドラインができたものの、アニマルウェルフェアについてなかなか伝わっていないのが現状です。

🌀 アニマルウェルフェアに関する世界的な共通認識となっている 5つの自由（5フリーダムス）

- 1 飢えと渇きからの自由（解放）
- 2 肉体的苦痛と不快からの自由（解放）
- 3 外傷や疾病からの自由（解放）
- 4 恐怖や不安からの自由（解放）
- 5 正常な行動を表現する自由

🌀 アニマルウェルフェアはどう進めて行ったらいい？

アニマルウェルフェアで、最も重視されるべきは、施設の構造や設備の状況より、日々の家畜の観察や記録、家畜の丁寧な取扱い、良質な飼料や水を与えるなど、家畜が健康であることです。アニマルウェルフェアは、家畜に対する心がけが重要で、日々の管理作業を見直すことから取り組めるものです。

消費者が関心を持つことも大きな推進力になります。

※ 「あにふく」では家畜の飼育環境が製品の質に少なからず影響を与えることや、家畜の生活環境の改善の必要性など、家畜にも生産者にも消費者にも安心・安全な飼育方法について学習や見学をしています。

関心のある方はいつでもご連絡ください。